



UniCaldò

Electric Oil-Filled Heater

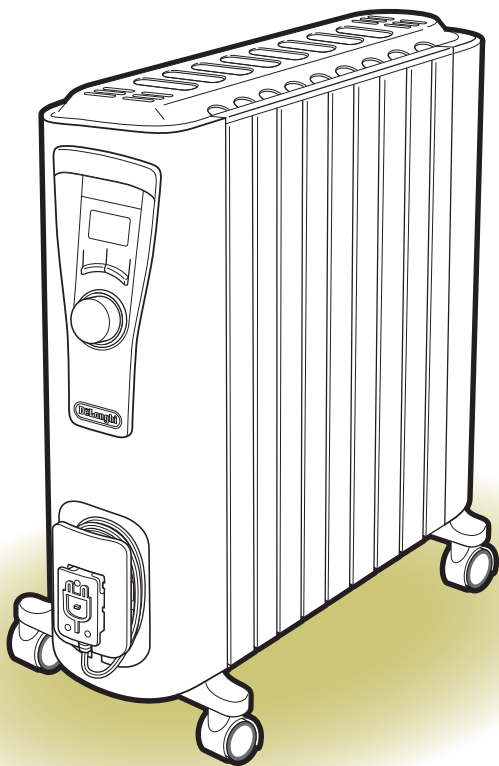
デロンギ
ユニカルド
オイルヒーター

型式番号

RHJ65L0915 RHJ65L0712

家庭用

※本体の型式番号「RHJ65L0915」「RHJ65L0712」の後に続く
ハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。



※本書のイラストは RHJ65L0915 を使用しています。

取扱説明書（保証書付）

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

目次

準備

安全上のご注意	2
ご使用前に	4
オイルヒーターについて	6
設置する	6
各部の名称とはたらき	8
現在時刻の設定	10

基本操作

暖房運転の基本操作	11
便利な機能	13

タイマー

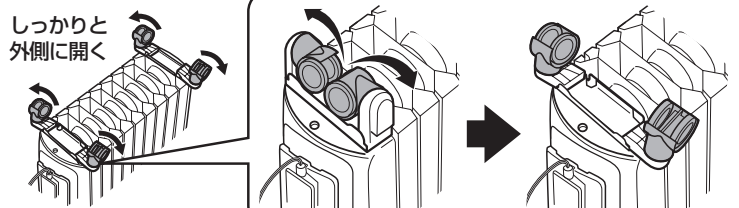
タイマー運転について	14
タイマー運転のしかた	15
タイマープログラムの設定	16
各運転モードの設定温度の変更	18

その他

故障かな？	19
仕様	20
お手入れ／保管のしかた	21
アフターサービス	22
保証書	23

■折りたたみ式キャスターの開き方

- ① 本機の底面が上になるように立てる
- ② すべてのキャスターをしっかりと外側に開く
- ③ 本機をゆっくり起こす



安全上のご注意 < 必ずお守りください >

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。



定格 15A (100V) のコンセントを単独で使用する

(火災、感電の原因)

- ※ ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しないでください。
- ※ 海外など異なる電源電圧の地域で使用しないでください。(日本国内専用)

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのほこりは定期的に乾拭き掃除をする

(火災の原因)

- ※ 4 ページ「電源プラグ・コード、コンセントの定期点検」参照

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災、感電の原因)

異常、故障時には直ちに使用を中止する

(火災、感電、やけどの原因)

〈異常、故障例〉

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- 異常な音やにおいがする。
- 本体が転倒または落下し、損傷した。

異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

お子様や自分で本機の温度調整ができない方には必ず付き添う

(火災、感電、やけど、けがの原因)

- 子供が機器(電源コード含む)で遊ばないように監視する。
- ※ 本製品は、安全に関する知識や経験が少ない方の使用は想定しておりません。小さなお子様、乳幼児、取り扱いに不慣れな方が近くにいるときは、必ず操作できる人が付き添ってください。



電源プラグ・コードを破損させない

(火災、感電の原因)

- コードに重たいものを載せたり、本機の下敷きしない。
- コードを無理に引っ張ったり、束ねたまま使用しない。
- コードをピンと引っ張ったまま使用しない。
- コードを引っ張って本体を移動させない。
- 高温部や、他の熱機器に近づけない。

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

(感電の原因)

運転中に電源プラグを抜き差ししない

(火災、感電の原因)

電源コードを巻き付けたまま使用しない

(火災の原因)

- ※ 余った電源コードは伸ばしたまま使用してください。

収納の際、電源コードをコードホルダーに強く巻かない

(火災の原因)

- ※ 21 ページ「お手入れ／保管のしかた」参照

カーテン、ふとんなど燃えやすいものや、コンセントのすぐ近くで使用しない

(火災、やけど、けがの原因)

- 電源をとるコンセントのすぐ下で使用しない。
- スプレー缶やカセットボンベを本体の近くに置かない。

分解、修理、改造をしない

(火災、感電、やけどの原因)

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない

(感電、けがの原因)

- ※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

本体や通気口をふとんや衣類などで覆わない

(火災の原因)

- 乾燥など他の用途で使用しない。



覆い掛け禁止

安全上のご注意 < 必ずお守りください >



注意



決められた設置方法に従う

(火災、感電、やけど、けがの原因)

※ 6 ページ「設置場所についてのご注意」参照

お手入れや保管、本体の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う

(感電、けが、やけどの原因)

※ 階段や段差を移動させるときは、必ず手袋などで手を保護し、本体底部を持って移動させてください。

長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)



水、湿気が多い場所で使用しない

(火災、感電の原因)

- 屋外や浴室など、水や湿気が多い場所で使用しない。
- 硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害のおそれのある場所で使用しない。

電源の入切をするための部品(タイマーなど)やその他の製品、部品を組み合わせ使用しない

(火災、感電の原因)

本体に水などの液体をこぼしたり、水洗いしたりしない

(火災、感電の原因)

運転中および運転停止後しばらくは、本体に触れない

(やけどの原因)

本体の上に乗ったり、寄りかかったりしない

(けがの原因)

※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

犬や猫などのペットの暖房に使わない

(火災の原因)

準備

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



ご使用前に

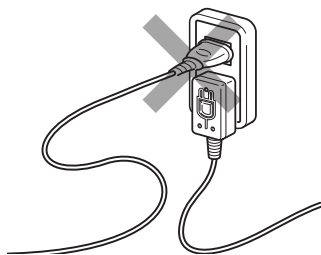
電源プラグ・コード、コンセントの定期点検

近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記に従って、電源プラグ・コード、およびコンセントを定期的に点検してください。

電源プラグ・コード、コンセントの安全チェックシート

チェックポイント

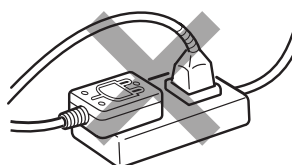
- コンセントを他の機器と併用していませんか？



詳細説明

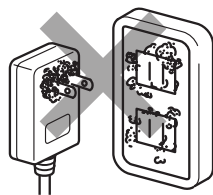
定格15A(100V)のコンセントをお使いください。コンセントが2口の場合は、片方を空けて単独でお使いください。他の器具と併用して容量がオーバーすると異常発熱し、火災の原因になります。

- 延長コードやテーブルタップを使っていませんか？



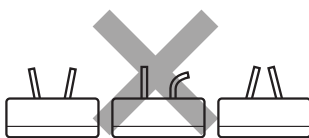
延長コードやテーブルタップなどは使用しないでください。電源はコンセントから直接お取りください。コンセントや電源プラグ・コードが異常発熱し、火災の原因になります。

- 電源プラグやコンセントにほこりがついていませんか？



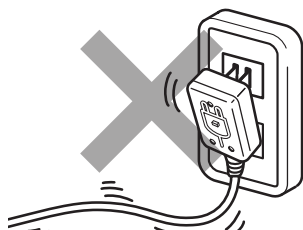
付着したほこりは、掃除機などで定期的に取り除いてください。電源プラグとコンセントの接触面にほこりが付着し、湿気が加わると、トラッキング現象が発生し、火災の原因になります。

- 電源プラグ(刃)が変形していませんか？



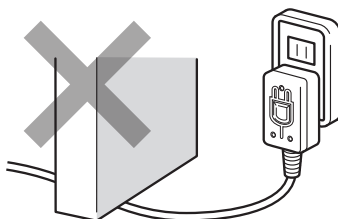
電源プラグ(刃)が変形した場合は、販売店または当社にプラグの交換をご依頼ください。曲がった刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受を変形させる原因になります。(曲がった刃をペンチなどで手直ししないでください。)

- コンセントにガタツキはありませんか？



コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。緩みのあるコンセントを使用すると、電源プラグ(刃)と十分な接触が得られず異常発熱し、火災の原因になります。

- 電源コードに重い物が載っていませんか？

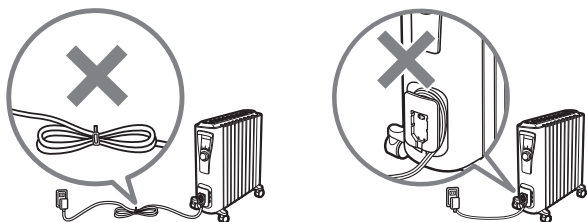


電源コードに重いものを載せたり、壁に押し付けたりしないでください。電源コードに無理な力が加わると、電源コードが断線し、火災や感電の原因になります。

ご使用前の前に（つづき）

チェックポイント

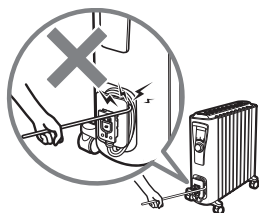
- 電源コードを束ねたり、コードホルダーに巻いたまま使っていないですか？



詳細説明

余った電源コードは残さずコードホルダーから解き、伸ばしたままお使いください。電源コードを束ねたり、コードホルダーに巻いたままでお使いになると、異常発熱し、火災の原因になります。

- 電源コードをコードホルダーに強く巻いていませんか？



収納するときは、電源コードをコードホルダーに強く巻きつけないでください。電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、火災や感電の原因になります。

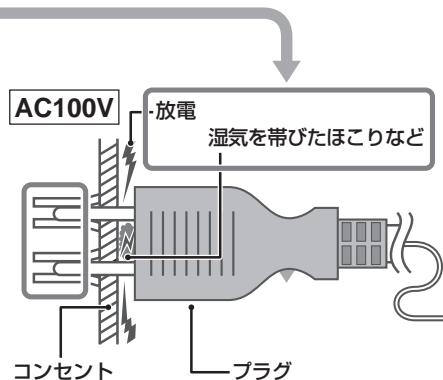
■トラッキング現象とは

火災の原因となる自然現象です。コンセント周りにほこりが溜まると、そこに湿気が加わることで異常電流が流れやすくなります。異常電流が長い時間続くと、電源プラグやコンセントの表面が炭化し、最終的に放電現象と火災が発生します。これがトラッキング現象です。

トラッキング現象は、定期的なお手入れで防ぐことができます(21 ページ参照)。

■電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

コンセントに電源プラグが根元までしっかり差し込まれていないと、刃受けとプラグの刃が不十分な接触のために、コンセントが発熱します。この状態のまま使用し続けるとコンセントやプラグが熱で変形・変質して、さらに発熱し、火災の原因になります。



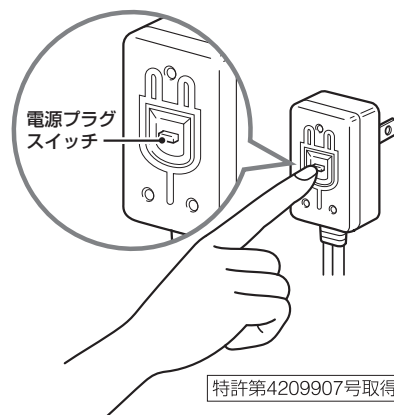
ご使用前に電源プラグをご確認ください

本製品の電源プラグは、復帰型温度過昇防止装置内蔵の安全プラグです。復帰型温度過昇防止装置は、コンセントの老朽化やガタツキによるプラグ部の発熱・発火事故を未然に防ぐために、電源プラグスイッチ周辺が異常過熱(約80℃以上)したときに本製品の電源を自動で切ります。

輸送時の環境により復帰型温度過昇防止装置が作動して、購入直後に本製品の電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。

電源プラグをコンセントに差し込んでもディスプレイの通電表示が点灯しないときは、電源プラグスイッチ(右図)をカチッと音がするまでプラグ内に押し込んでください。

- ご使用前(シーズンごと)に電源プラグスイッチがプラグ内に押し込まれているか確認してください。



知っておいていただきたいこと：ブレーカーについて

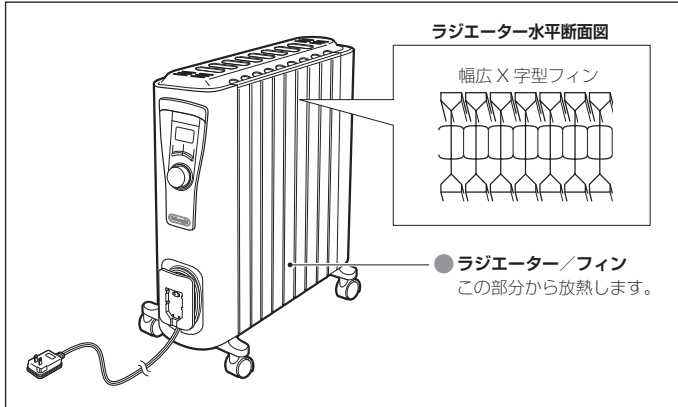
ブレーカー(分電盤内にある回路遮断器)は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。契約電力が不足している場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き(=落ち)ます。

※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

オイルヒーターについて

暖房のしくみ

ラジエーター内部に密封した難燃性オイルを本体の下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはフィン内を循環、効率良く放熱し、輻射熱と自然対流で室内を暖めます。



よくあるご質問 (これは故障ではありません)

■使いはじめの臭いについて

使いはじめは新製品特有の臭いを感じる場合があります。本体の耐熱塗装が熱になじむまで臭いを感じますが機能や安全性に問題はありません。しばらくお使いいただくと臭いはおさまります。

■運転中にパチパチと音がする

電源を入れると、ラジエーター内部で天ぷらを揚げのような音がする場合があります。これは、外気との温度差によって生じた結露が熱くなったオイルに落ちたときの音です。異常ではありません。

■「カンカン」や「キーン」といった金属音がする
本体が温まったり、冷めたりする際に発生する音です。異常ではありません。

設置する

ご購入後すぐに



必ずキャスターを開いて使用する

※ 設置前に必ず折りたたみ式キャスターを開いてください。(開き方については表紙参照)

本機を移動するときは



本体の移動は、必ず本体が冷えてから行う

- 取っ手を持ちゆっくりと引いてください。
- 階段や段差を移動するときは、本体底部を持って移動してください。
※ 持つときは必ず手袋などで手を保護してください。

設置場所についてのご注意



壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから20 cm以上離す

※ 材質によっては、本体の熱で変色/変質する恐れがあります。

テーブルや机の下で使わない

※ 本体の上部は燃えやすいものから1 m以上の距離を取ってください。上部をふさぐと空気の対流ができなため高温になります。

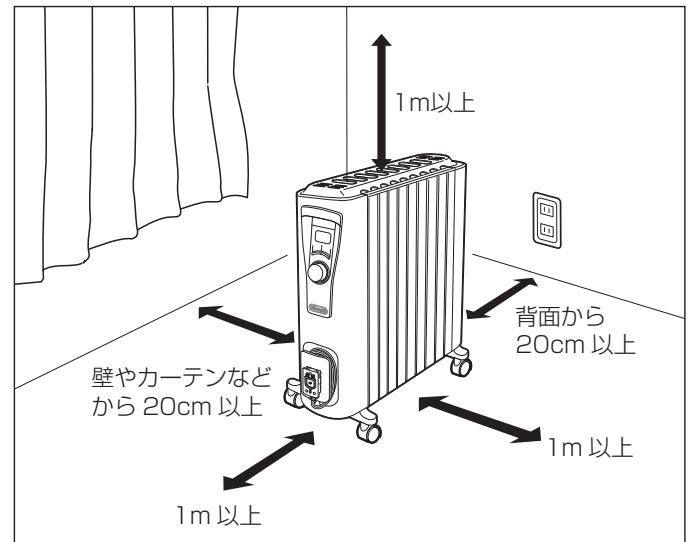
人や家具などからは1 m以上離す

※ 寝室で使用するとき、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して1 m以上の距離を取ってください。

毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く

※ 本体が倒れるとけがの原因になります。

- ホットカーペットや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく動きません。

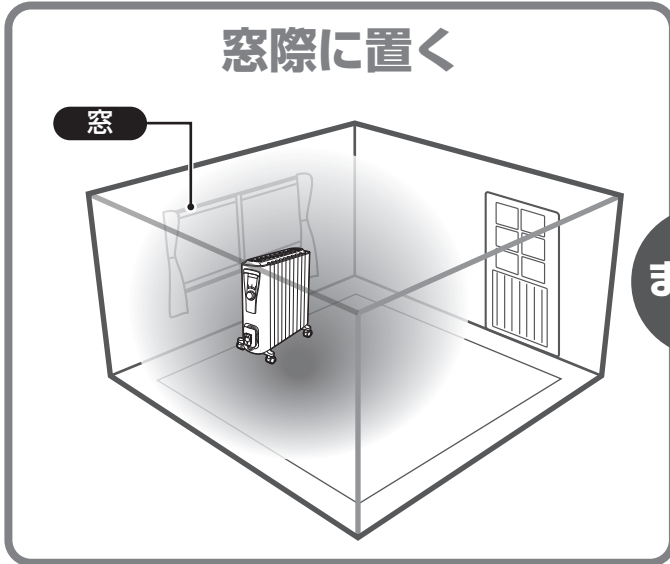


設置する（つづき）

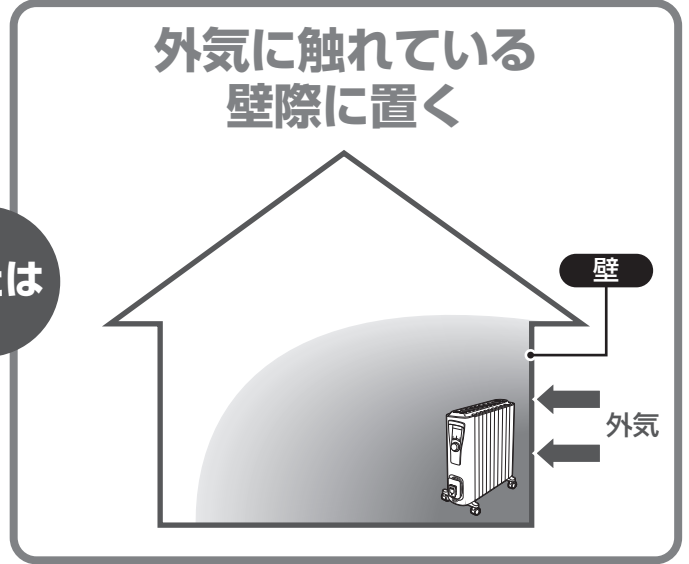
設置場所の工夫で効果的な暖房を

オイルヒーターの熱が、冷気の侵入をブロックすることで部屋の暖房効果が高まります。お部屋の中でも屋外からの冷気に影響されやすい、次のような場所に置いてください。

準備

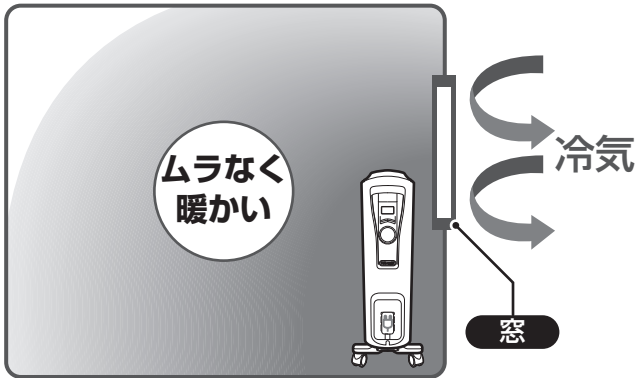


または



■設置場所の良い例と悪い例

○良い例



- 窓際に置くとムラなく暖かい

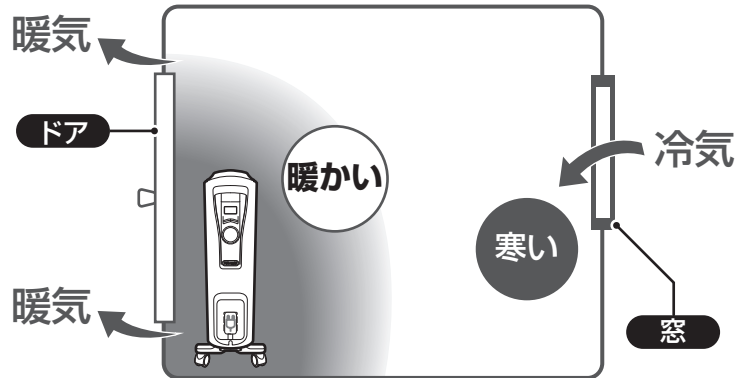


■その他の工夫

窓からの冷気の侵入を防いで部屋の断熱性を高めると、さらに暖房効率が上がります。

- 厚手で長めのカーテンを引く
- 窓に市販の断熱シートを貼る
- サッシに市販の断熱テープを貼る

×悪い例



- 冷気が侵入し温度ムラができやすい
- ドア付近に設置すると暖気が逃げやすい

お知らせ

当社のWEBサイトでは、オイルヒーターをより効果的に使う方法や電気代の目安となるシミュレーションなどをご案内しています。

オイルヒーター特設サイト
<http://oilheater.delonghi.co.jp/>

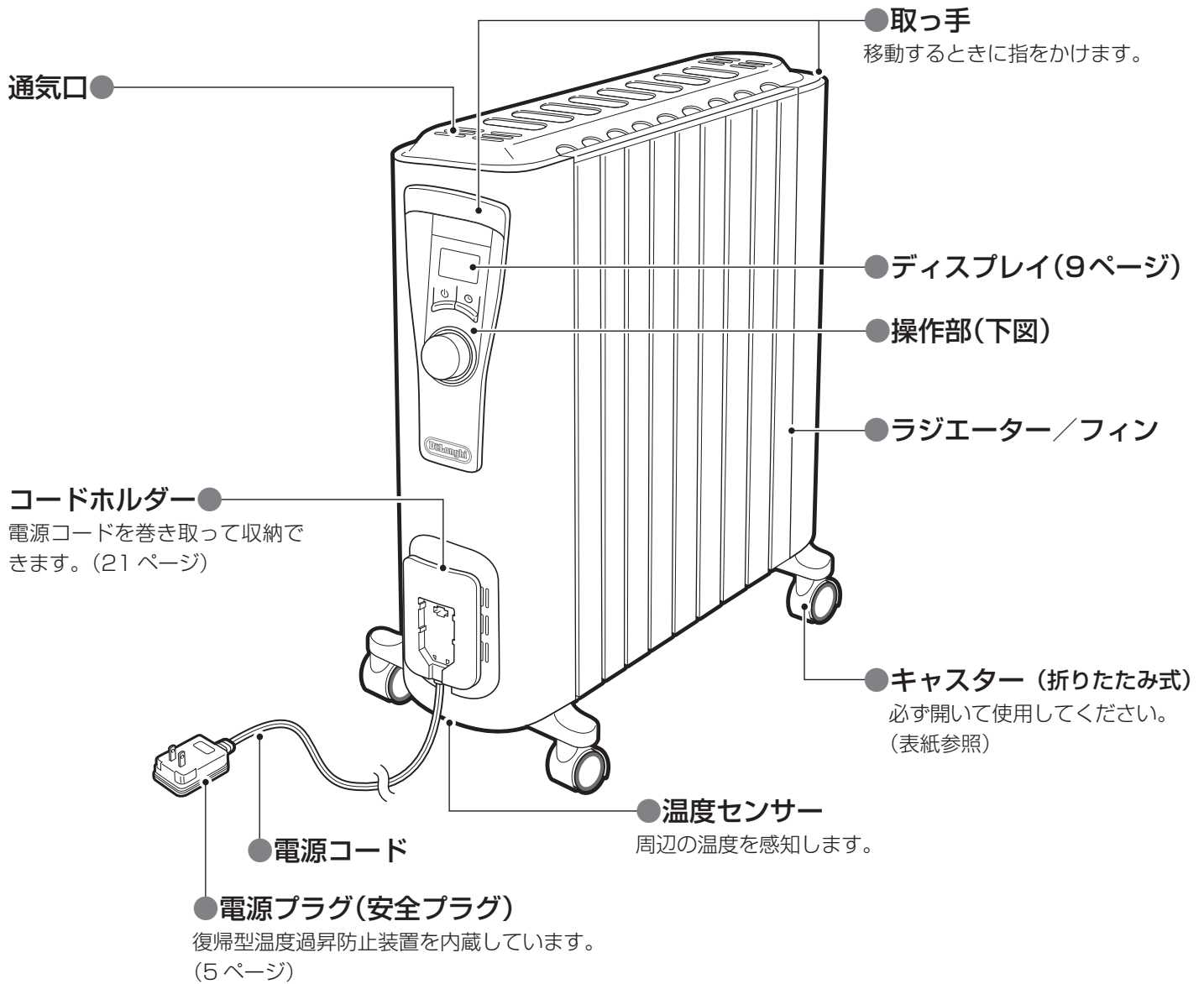


各部の名称とはたらき

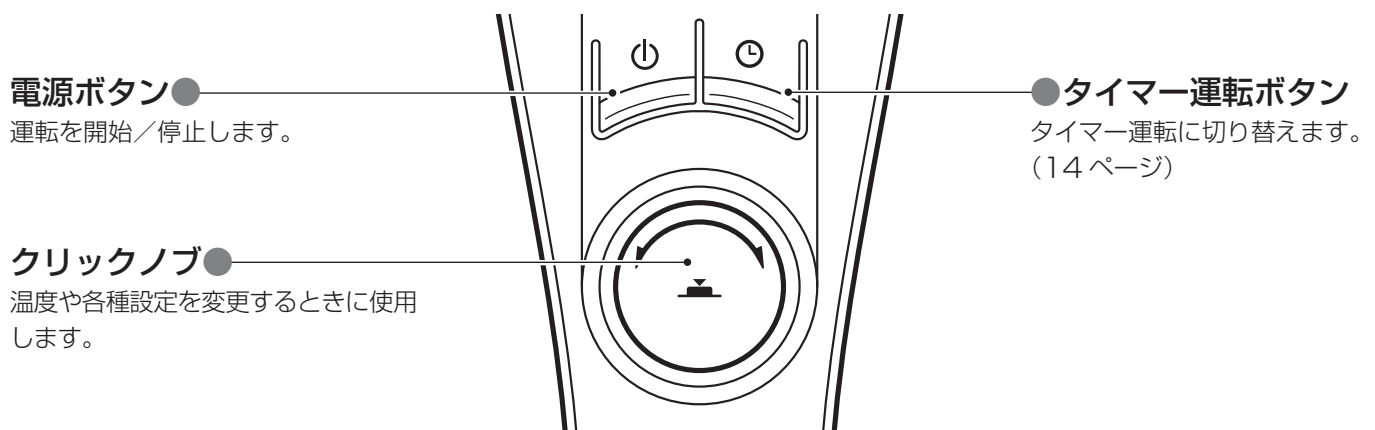
本体



ご使用前に各部の輸送用の粘着テープやシールを必ずはがしてください。



操作部



各部の名称とはたらき（つづき）

ディスプレイ



ご使用前にディスプレイの保護シールを必ずはがしてください。

ここでは、本体の運転状態の表示について説明しています。

時刻／温度表示

🌡️が表示されているときは温度を、🕒が表示されていないときは時刻を表示します。

時刻は24時間表示です。

チャイルドロック表示

チャイルドロックが設定されているときに表示されます。

通電表示

電源プラグをコンセントに差し込んでいるときに表示されます。

電力レベル設定表示

電力レベルの設定が表示されます。

電力レベル(設定)	暖房能力(W)の目安(自動調整)	
	RHJ65L0915	RHJ65L0712
📊 「弱」	0～約600W	0～約500W
📊 「中」	0～約900W	0～約700W
📊 「強」	0～約1500W	0～約1200W

タイマー予約設定表示

タイマー運転中、タイマープログラムの設定中、および時刻設定中に表示されます。

凍結防止機能設定表示

凍結防止機能を使用しているとき（温度設定が5℃で運転しているとき）に表示されます。

運転モード表示時

タイマープログラムの設定中に表示されます。

● : オン (緑点灯)

○ : オフ (赤点灯)

エコ運転表示

電力レベルは「強」固定で動作します。

電力レベル表示

運転中の電力レベルが表示されます。

表示されていない場合は暖房休止中です。

電力レベル(運転)	暖房能力(W)の目安(自動調整)	
	RHJ65L0915	RHJ65L0712
— 「弱」	600Wで運転中	500Wで運転中
— — 「中」	900W運転中	700Wで運転中
— — — 「強」	1500W運転中	1200Wで運転中

現在時刻の設定

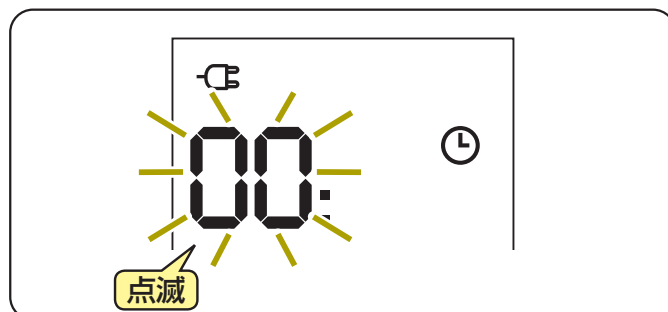
使いはじめに現在時刻を合わせる

ご購入後初めて使用するときや長時間電源プラグをコンセントから抜いていたときは、現在時刻を設定してください。運転を行うには現在時刻の設定が必要です。

※電源プラグを差したときに現在時刻の設定が記憶されていれば、再度設定する必要はありません。

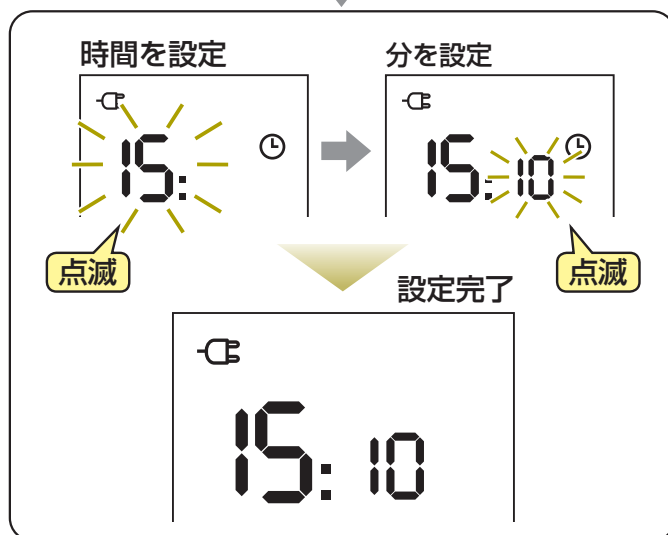
1 電源プラグをコンセントに差し込む

- ディスプレイが一瞬全点灯した後、**⏻** と **🕒** が点灯、時間表示が点滅します。
- 電源プラグをコンセントに差し込んで、ディスプレイの **⏻** が点灯しない場合は、電源プラグスイッチを確認してください。(5 ページ)



2 クリックノブで時刻を合わせる

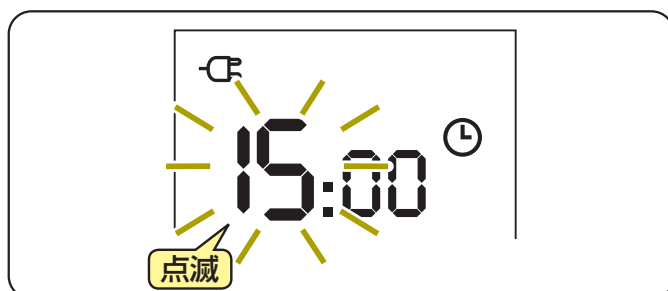
- クリックノブを回して時間を選択し、クリックノブを押して確定させます。
- 次に分が点滅するので、時間と同じように設定します。
- 時刻の設定が終わると、**🕒** が消灯し、**⏻** と時刻が点灯します。



現在時刻を変更する

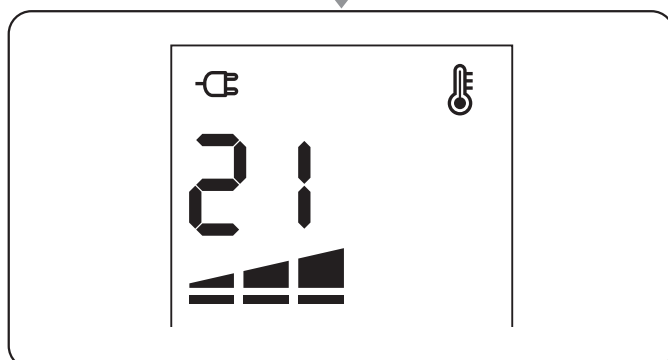
1 暖房運転中にクリックノブを5秒以上長押しする

- 🕒** と時刻が表示され、時間表示が点滅します。



2 クリックノブで時刻を合わせる

- 上記「使いはじめに現在時刻を合わせる」と同様に時刻を設定します。
- 時刻の設定が終わると、**🕒** が消灯し、暖房運転中の表示に戻ります。



暖房運転の基本操作

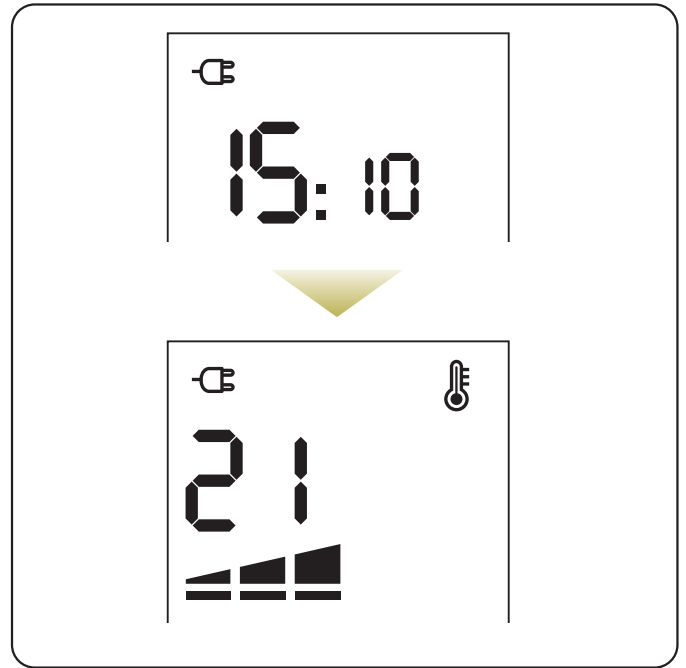
1 運転開始

①電源プラグをコンセントに直接差し込む

- -CE と時刻が点灯します。
- 電源プラグをコンセントに差し込んで、ディスプレイの -CE が点灯しない場合は、電源プラグスイッチを確認してください。(5 ページ)
- 時刻表示が点滅している場合は、時刻を設定します。(10 ページ)

② **⏻** を押して運転を開始する

- ディスプレイに電力レベル、電力レベル設定、および設定温度が表示されます。



準備

基本操作

2 暖房の設定

クリックノブを回してお好みの温度を設定する

- 5℃、および 10℃～28℃の間で設定できます。
- 5℃に設定すると、凍結防止機能がオンになります。(13 ページ)

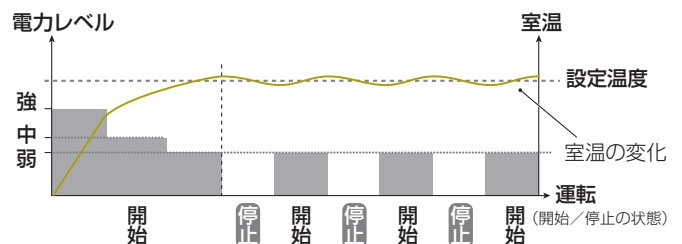
3 運転停止

⏻ を押して運転を停止する

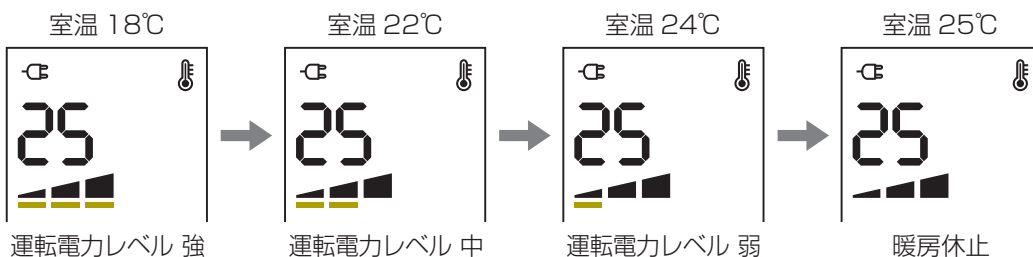
- ディスプレイに時刻が表示されます。

電力レベル自動調整のしくみ

室温が低く設定温度との差が大きいときは、設定した最大電力レベルで暖房運転します。室温と設定温度との差が小さいときは、低い電力レベルでゆっくり運転します。室温が設定温度とほぼ等しくなると、暖房能力を小さくしたり、休止したりして無駄な電力消費を防ぎます。



例) 設定温度 25℃、電力レベルの設定を「強」にして、室温 18℃で運転を開始した場合



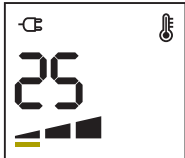


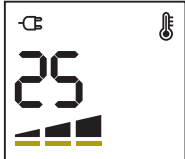



※ 実際の運転は設置場所や、お部屋の環境によって上記と異なる場合があります。

暖房運転の基本操作（つづき）

電力レベルの設定と消費電力

本機の電力レベルの設定は、3段階（弱・中・強）に切り替えられます。設定した電力レベルによって消費電力（暖房能力）も以下のように変わります。通常は電力レベル「強」のままお使いください。

電力レベルの設定	暖房能力(W)の目安(自動調整)		運転電力レベルの見かた	
	RHJ65L0915	RHJ65L0712		
 「弱」	0～約600W	0～約500W	暖房休止 	運転電力レベル「弱」 
 「中」	0～約900W	0～約700W	運転電力レベル「中」 	運転電力レベル「強」 
 「強」	0～約1500W	0～約1200W		

電力レベルを変更する

①暖房運転中にクリックノブを2回押す

②クリックノブを回して電力レベル（エコ運転含む）を選択する

クリックノブを回すと、電力レベル設定の点滅が以下のように切り替わります。

ディスプレイの表示：

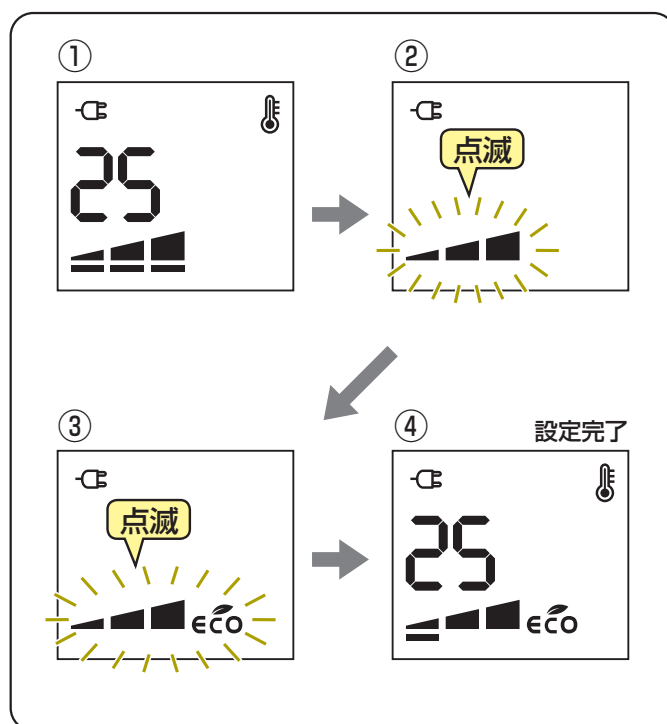


③お好みの電力レベル（エコ運転含む）を選択したら、クリックノブを押す

設定が確定し、暖房運転中の表示に戻ります。

※設定の変更中になにも操作せずに2分経過した場合も、暖房運転中の表示に戻ります。ただし、この場合は電力レベル設定は変更されません。


※凍結防止機能（5℃）で運転中の場合は、電力レベルは変更できません。



便利な機能

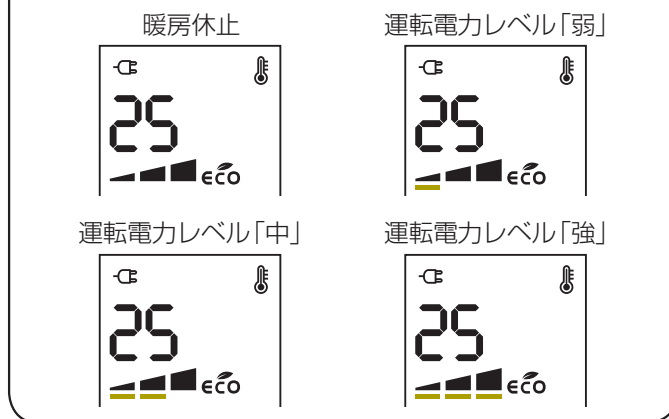
エコ運転

設定温度より自動的に 0.5 ~ 2.0℃ 温度を下げて運転し、消費電力を抑えます。

電力レベルの設定	暖房能力(W)の目安(自動調整)	
	RHJ65L0915	RHJ65L0712
 「エコ」(「強」固定)	0 ~ 約 1500W	0 ~ 約 1200W

設定方法は「電力レベルを変更する」(12 ページ) を参照してください。

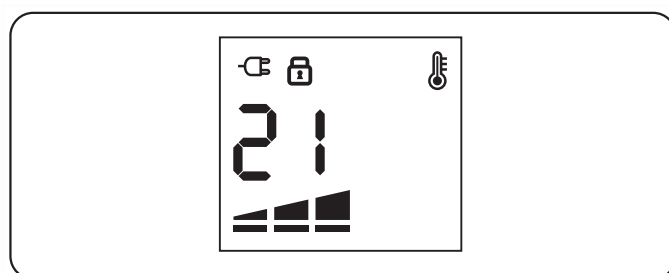
運転電力レベルの見かた



チャイルドロック

🔒マークが表示されるまで🕒とクリックノブを同時に 3 秒以上長押しします。解除するには設定と同じ操作を行ってください。

※安全のため、チャイルドロック設定時でも運転を停止することはできません。



液晶の明るさと操作音オフの設定

〈液晶の明るさ設定〉

運転停止中にクリックノブを 5 秒以上長押しします。ディスプレイの表示が変わったらクリックノブを回し、お好みの明るさを選択し、クリックノブを押して確定します。

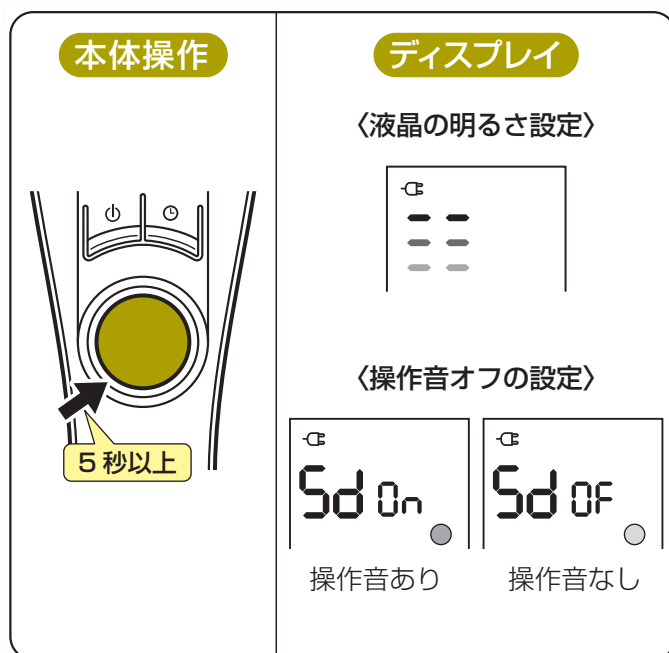
※待機時(操作していない間)の明るさを 3 段階に設定できます。

※操作中は最大の明るさで表示されますが、操作後約 10 秒後に設定した明るさに戻ります。

〈操作音オフの設定〉

液晶の明るさ設定のディスプレイが表示された状態で🕒を押します。ディスプレイの表示が変わったら、クリックノブを回して設定を切り替え、クリックノブを押して確定します。

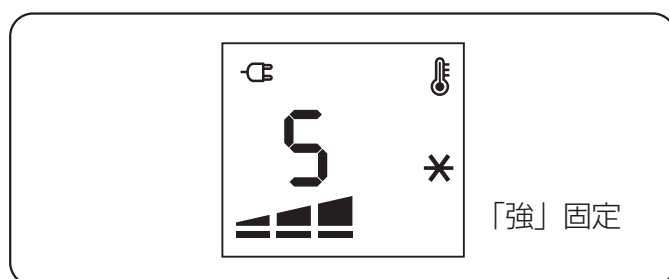
※操作音あり(Sd On) ⇄ 操作音なし(Sd Off) で切り替えます。



凍結防止機能

ヒーターには周辺の温度が 5℃ 以下になった場合に自動的に運転を開始し、室温の下がりすぎを防ぐ「凍結防止機能」が搭載されています。設定温度を「10℃」よりさらに下げること設定できます。



温度表示が「5」と表示され、❄️が点灯し、「凍結防止」が設定されます。



タイマー運転について

タイマー運転にはオン、オフの2つの運転モードがあり、それぞれに異なる温度設定ができます。タイマー運転中は、2つの運転モードを時間帯によって自動で切り替えながら運転します。1日の24時間の中でどの時間帯にどの運転モードを使用するか（タイマープログラム）を、自分の生活に合わせて変更できます。

運転モードについて

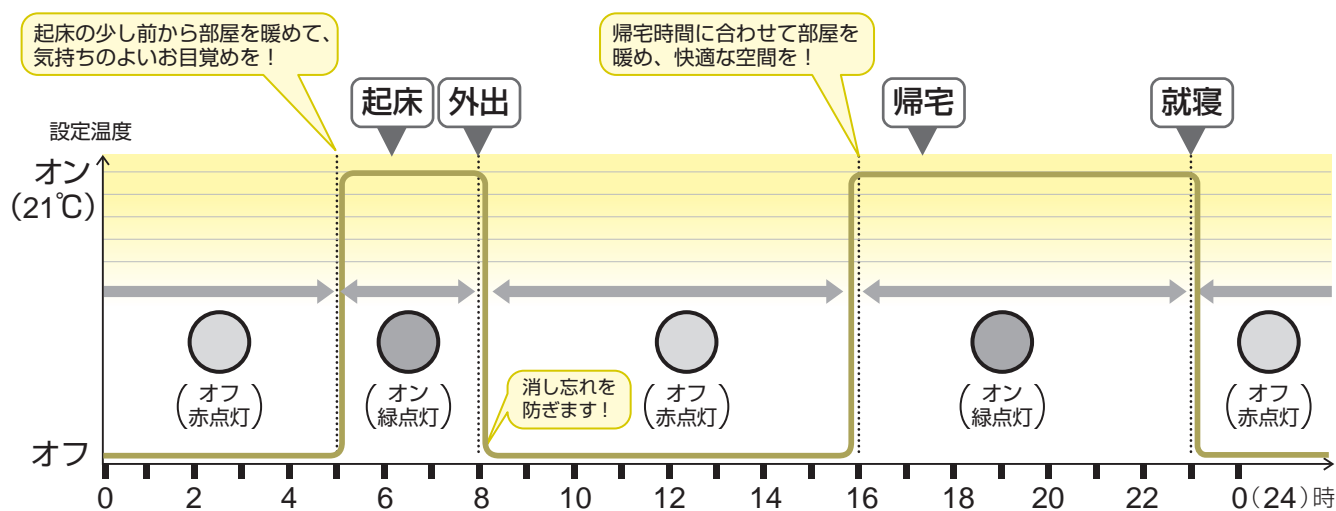
モード	初期設定の温度	電力レベル
 オン (緑点灯)	21℃ (※ 1)	 <p>(各運転モードに電力レベルを設定することはできません。タイマー運転中は、手動で変更が可能です。12ページ)</p>
 オフ (赤点灯)	off (運転停止) (※ 1) (※ 2)	

※ 1 温度設定を変更できます。(18ページ)

※ 2 オフモード時の温度設定をオフ以外に変更することで、温度が下がり過ぎないようにすることができます。(18ページ)

※出荷時は、下記のタイマープログラムが設定されています。お好みの内容を設定する場合は、16ページを参照してください。

タイマープログラムの初期設定



起床から外出までと、帰宅から就寝まではオンで運転。
就寝中と外出中は暖房不要なのでオフで暖房を停止。

タイマー運転のしかた

1 タイマー運転開始

① 電源ボタンを押す

暖房運転を開始します。

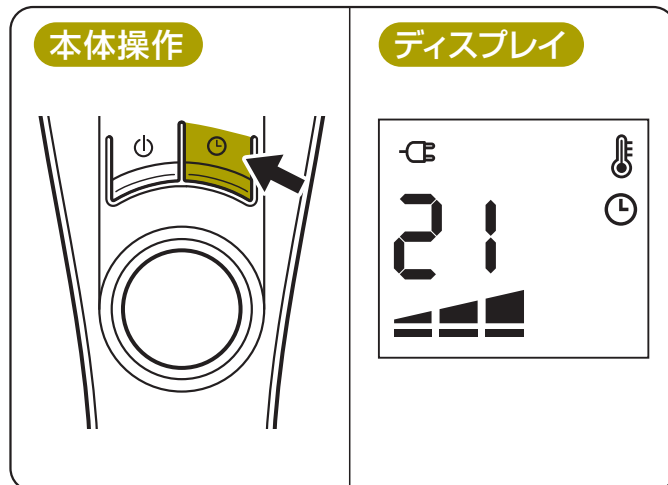
② タイマーボタンを押す

ディスプレイにタイマーアイコンが点灯し、あらかじめ設定されたタイマープログラムにあわせた運転モードでタイマー運転を開始します。

※電力レベルを変更する（12 ページ）

※タイマープログラムを変更する（16 ページ）

※各運転モードの設定温度を変更する（18 ページ）



2 タイマー運転終了

通常の暖房運転に戻りたい場合は

タイマーボタンを押すと、タイマー運転から通常の暖房運転に戻ります。

運転を停止したい場合は

電源ボタンを押すと、暖房運転を停止します。

タイマーの設定内容を確認する

タイマー運転中に各時間帯に割り当てられた運転モード、設定温度を確認することができます。

① **タイマー運転中**にタイマーボタンを長押しすると、時刻表示、運転モードのランプが点滅します。

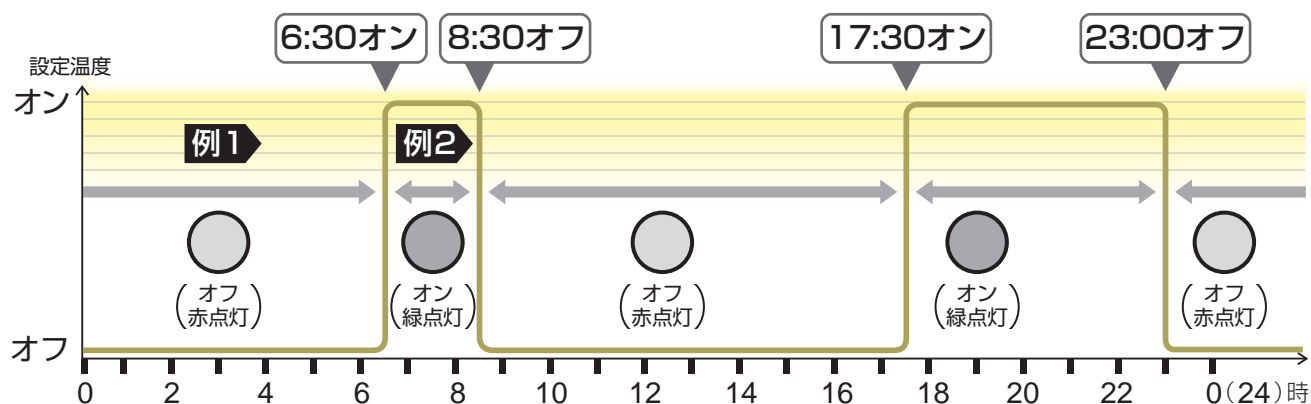
② クリックノブを回すと時刻の表示が切り替わり、各時間帯に割り当てられた運転モードのランプが点滅表示されます。

③ タイマーボタンを長押しするとその時刻の設定温度が表示されます。

④ クリックノブを押すとタイマー運転中の表示に戻ります。

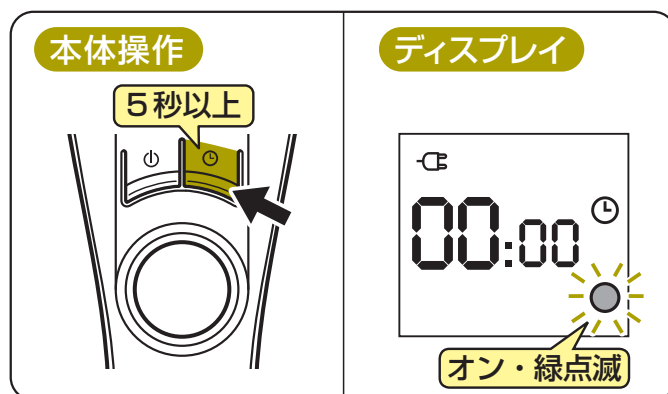
タイマープログラムの設定

タイマープログラム例



1 タイマープログラム開始

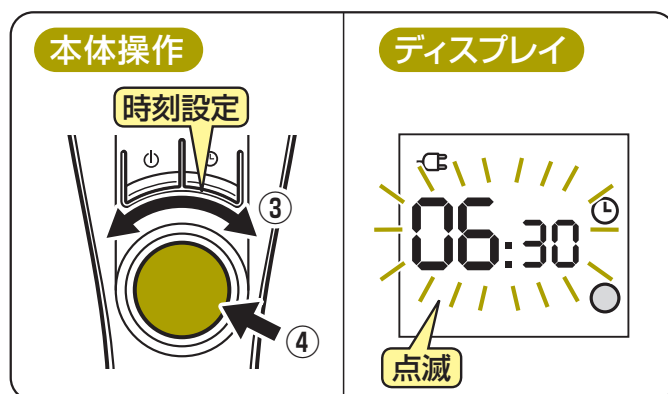
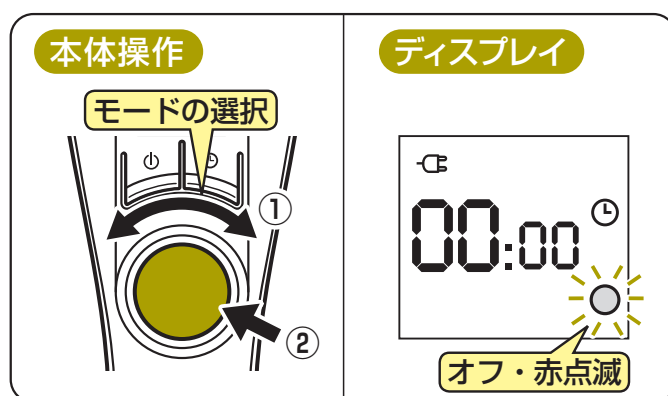
運転停止状態で⏸を5秒以上長押しします。



2 1日(24時間 / 0:00 ~ 0:00 = 24時)をどちらの運転モード(オン・オフ)にするかを設定する

例1 00:00 ~ 06:30 オフ設定

- ① クリックノブを回しオフモードを選択します。
- ② クリックノブを押して確定します。
- ③ クリックノブを06:30 (オフモード終了時刻)まで回します。
- ④ クリックノブを押して設定を確定します。



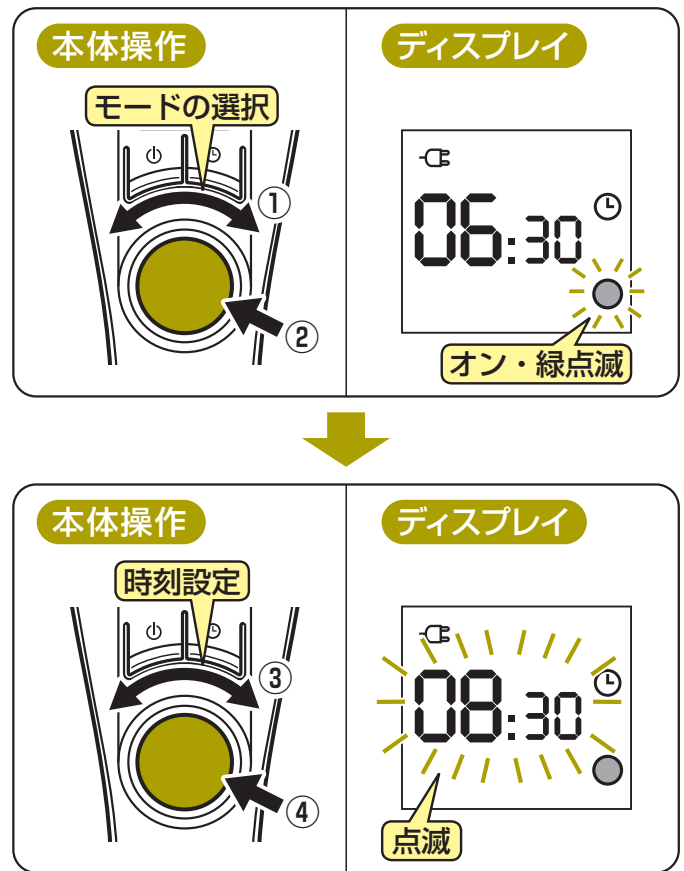
タイマープログラム例（16 ページ）を例にとって設定します。タイマープログラム設定は深夜 0 時 (00:00) スタートで、1 日 (24 時間) をどの運転モードに割り振るかを設定していきます。
 ※時間は 15 分単位で設定できます。

例2 ▶ 06:30 ~ 08:30 オン設定

- ① クリックノブを回しオンモードを選択します。
- ② クリックノブを押して確定します。
- ③ クリックノブを 08:30（オンモード終了時刻）まで回します。
- ④ クリックノブを押して設定を確定します。

- **例1**、**例2** の手順を組み合わせると繰り返し 00:00 から 00:00 (24:00) までタイマープログラムを設定します。
- 00:00 (24:00) まで設定が終わると運転停止状態に戻ります。
- 00:00 から 00:00 (24:00) まで 24 時間すべての時間帯を設定します。部分的に設定することはできません。

※タイマープログラム設定の途中で、なにも操作せずに 2 分経過した場合も、運転停止状態に戻ります。ただし、この場合はそれまでに変更した内容は保存されません。



③ ① を押して運転を開始してから ④ を押してタイマー運転を開始する

ヒント

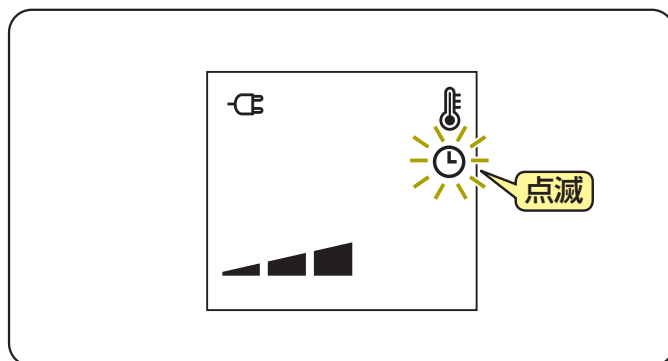
オイルヒーターは暖まるのに約 30 分かかるため、起床や帰宅時間の 30 分前にオンになるように設定するのがおすすめです。また、オフにした後も約 30 分は暖かいため、外出する 30 分前にオフになるように設定するのがおすすめです。

各運転モードの設定温度の変更

① 暖房運転中にクリックノブを押し、回してタイマー設定予約表示(🕒)を点滅させたら、再度クリックノブを押し

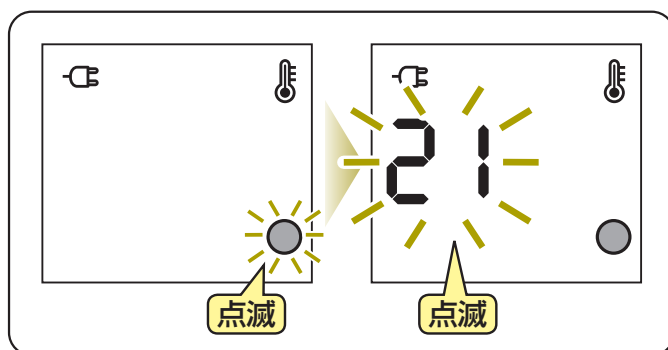
※タイマー運転中にクリックノブを押し場合は、電力レベル設定の変更になります。(12ページ)

タイマー設定を解除してからおこなってください。(15ページ)



② クリックノブを回して設定温度を変更したい運転モード(オンまたはオフ)のランプを点滅させ、クリックノブを押し

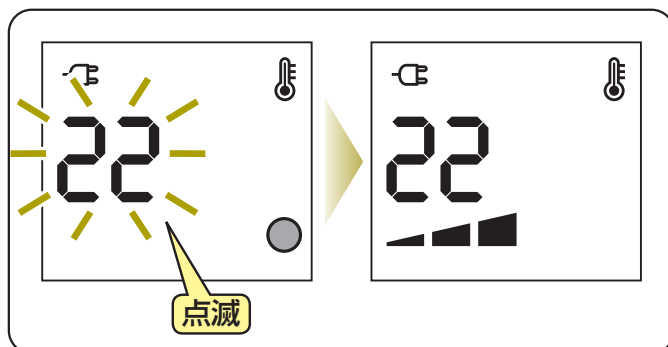
ランプが点滅から点灯に変わり、設定温度表示が点滅します。



③ クリックノブを回して設定温度を変更し、クリックノブを押し

設定温度の変更が確定し、暖房運転中の表示に戻ります。ほかの運転モードの設定温度を変更するときは、再度①から操作を行ってください。

※設定の変更中になにも操作せずに2分経過した場合も、暖房運転中の表示に戻ります。ただし、この場合は設定温度は変更されません。



温度設定の制限

運転モードごとに設定できる温度の範囲が異なります。

オン：10～28℃

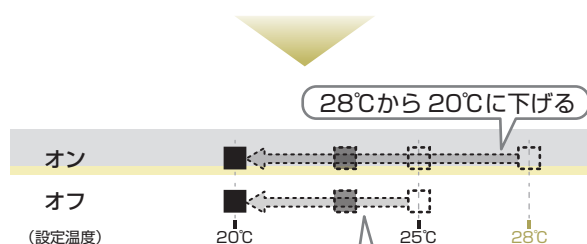
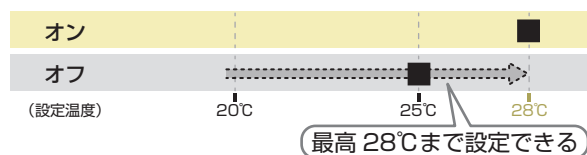
オフ：off(暖房休止)、5℃、10～28℃

ヒント

オフモードをoff以外(例16℃)に設定することで、室温が下がり過ぎないようにプログラムを設定することができます。

オフはオンより高い温度には設定できません。

例) オンの設定温度を28℃から20℃に変更した場合



オフも自動的に20℃に下がり、それ以上の温度に設定できない

故障かな？

修理をご依頼いただく前に、以下の項目をご確認ください。それでも正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社（22 ページ）までお問い合わせください。

症状（状態）	予想される原因	対処のしかた
⏻を押しても電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグ（刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込んでください。ガタツキのあるコンセントは使用しないでください。（4 ページ）
	電源プラグの復帰型温度過昇防止装置が作動している	輸送／保管時の環境により復帰型温度過昇防止装置が作動することがあります。（5 ページ） 使用中に作動した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、当社（22 ページ）にご連絡ください。
	チャイルドロックが設定されている	チャイルドロックを解除してください。（13 ページ）
⏻を押しても電力レベル表示が点灯しない	設定温度が低すぎる	設定温度を上げてください。（11 ページ）
	凍結防止機能（設定温度 5℃）になっている	凍結防止機能は、室温が 5℃を下回らないと運転を開始しないので、電力レベル表示も点灯しない時間が長くなります。設定温度を上げてください。（11、13 ページ）
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件（断熱材や位置など）によって異なります	ヒーターのラジエーター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない	オイルが暖まるのに約 30 分～ 1 時間かかるため、事前に電源を入れておいてください。
	ヒーターを、ドア（出入口）付近に置いて使用している	ドア（出入口）から離れた場所に設置してください。（7 ページ）
	ホットカーペットや床暖房の上で使用している	ホットカーペットや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく動きません。（6 ページ）
	電力レベルを「弱」にしている	室外の気温が非常に低いなど部屋の環境によっては、「弱」では暖まりにくい場合があります。電力レベルを強めに設定してください。（12 ページ）
	ご使用の環境に対して設定温度が低すぎる	室外の気温が非常に低いなど部屋の環境によっては、設定温度を上げてください。（11 ページ）
	凍結防止機能（設定温度 5℃）になっている	凍結防止機能は、室温が 5℃を下回らないと運転を開始しないので、電力レベル表示も点灯しない時間が長くなります。設定温度を上げてください。（11、13 ページ）
	タイマー運転中で、オフモードに設定されている時間帯である	タイマー運転中でオフモードに設定されている時間帯に暖房をおこなう時は、タイマー運転を解除してください。（15 ページ）
使用中、電源プラグ・コードが異常に熱くなる	電源プラグ・コードが正しく接続されていない	「電源プラグ・コードの安全チェックシート」（4 ページ）に従って、電源プラグ・コード、およびコンセントの点検をしてください。
設定温度の変更ができない	タイマー運転をしている	タイマー運転中は設定温度の変更ができません。タイマー運転の各運転モードの設定温度を変更する場合は 18 ページをご参照ください。
オフモードの設定温度がある一定以上上がらない	オンモードの設定温度が低く設定されている	オフモードの温度をオンモードより高く設定することはできません。オンモードの温度をオフモードより低く設定すると、オフモードの温度はオンモードに合わせて自動的に下がります。（18 ページ）
ボタンやクリックノブを操作しても、ディスプレイの表示が変わらない	ディスプレイの保護シールが貼られたままになっている	保護シールをはがしてください。
	チャイルドロックが設定されている	チャイルドロックを解除してください。（13 ページ）

故障かな？（つづき）

症状（状態）	予想される原因	対処のしかた
ディスプレイに「tos」と表示された	転倒時自動電源遮断装置が働いている	本体が傾いています。本体を平らで安定した場所に設置してから、電源を入れ直してください。
ディスプレイに「Ht」と表示された	温度過昇防止装置が作動した	本体の通気口がふさがれていたり、本体が覆われたりしているなどの理由で、温度過昇防止装置が作動しました。電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えるまでお待ちください。電源を入れ直しても正常に動作しない場合は、当社（22 ページ）にご相談ください。
ディスプレイに「PF1」または「PF2」と表示された	センサーの故障	ただちに電源プラグをコンセントから抜き、当社（22 ページ）にご相談ください。
内部のオイルが漏れ出している	偶発的な不具合	オイルは難燃性であり発火に至ることはなく、また皮膚に触れても人体に重大な危険を生じさせるものではありませんが、万一オイルが漏出した場合は次のとおりにお取り扱いください。 電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、漏れ出したオイルをタオルなどで拭き取ってください。必要に応じて窓を開けるなどして換気を行ってください。また、オイルが皮膚に付着した場合はぬるま湯と石鹸で洗浄してください。その後、当社（22 ページ）にご連絡ください。

次の場合は故障ではありません。

症状（状態）	原因
使いはじめの臭い	使いはじめは新製品特有の臭いを感じることがあります。しばらくお使いいただくと臭いはおさまります。
パチパチッと音がする	外気との温度差によってラジエーター内部で発生した結露が熱くなったオイルに落ちた時の音です。
まれに「カンカン」や「キーン」といった金属音がする	本体が温まったり、冷めたりする際に発生する音です。

仕様

製品名称	デロンギ ユニカルド オイルヒーター	
型式番号	RHJ65L0915	RHJ65L0712
広さの目安	10畳 ^{*1} ～13畳 ^{*2}	8畳 ^{*1} ～10畳 ^{*2}
定格	電圧/周波数	交流 100V / 50/60Hz
	消費電力	強：1500W 中：900W 弱：600W
外形寸法（約）	長さ 56.0cm x 幅 30.0cm x 高さ 68.0cm	長さ 47.5cm x 幅 30.0cm x 高さ 68.0cm
質量（約）	16.5 kg	13.5 kg
フィン枚数	9 枚	7 枚
フィン形状	幅広 X 字型	
タイマー	デジタルタイマー	
安全装置	転倒時自動電源遮断装置・温度過昇防止装置（本体内）・復帰型温度過昇防止装置（電源プラグ内）	

※ 1 日本電機工業会自主基準

※ 2 デロンギ自社実験による。試験条件：新省エネルギー基準 外気温 5℃、5 面接触

お手入れ／保管のしかた



- お手入れや保管をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う
- 絶対に水に浸したり、水洗いをしない

お手入れ

定期的なお手入れ

- 本体および床や壁との隙間に溜まっているゴミやほこりは、掃除機などで必ず取り除いてください。
- コンセント（刃受）および電源プラグ（刃）に付着しているゴミやほこりは、定期的に掃除機などで必ず取り除いてください。トラッキング現象の防止となります。（5 ページ）

本体が汚れたら

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しない

保管のしかた

保管前のお手入れ

このページの「お手入れ」に従って、本体の汚れやたまったほこりを取り除いてください。

プラグの収納

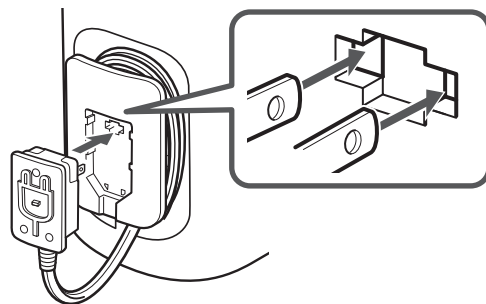
保管する前に、次の手順で電源プラグを収納します。

- 1 電源コードをコードホルダーに軽く巻く

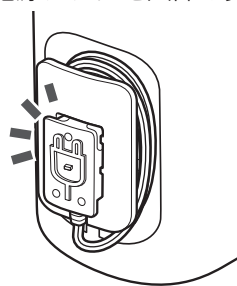


電源コードをコードホルダーに強く巻かない（火災の原因）

- 2 電源プラグの刃を凹部の両端に平行に合わせ、真っ直ぐ差し込む



- 3 電源プラグを凹部の奥までしっかりと差し込む



電源プラグは収納部に正しく差し込んでください。無理に差し込むと故障する恐れがあります。

保管するときのご注意

- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 箱に収納しない場合は、必ずキャスターを開いた状態で保管してください。



保管の際は、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かない

アフターサービス

使用中に異常(★)が生じた場合

直ちに電源を切り (= 運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな?」(19 ~ 20 ページ) で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社(下記)にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 電源プラグ・コードが変形/破損している
- 操作部やフィンに、水などの液体をこぼした
- 本体に強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

万一故障した場合

保証書に記載されている販売店に、『①お買い上げ日』、『②製品名称と型式番号』、『③故障の状況』をご連絡の上、修理をご依頼ください。

※修理品の送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

※修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記載したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封してください。

※本製品のメーカー保証範囲は保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります(補修用性能部品保有期間内)。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、このオイルヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

まごころ点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。

保証期間(3年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(お預かり)をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、下記にお問い合わせください。

デロンギ再資源化システムについて

ご不要になった製品は、当社で費用を負担し、素材ごとに分別し、再資源化いたします。

製品のお預かり方法など、再資源化のご相談は下記までご連絡ください。



- **送料について**：送料はお客様のご負担(元払い)となります。あらかじめご了承ください。
- **梱包について**：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。
- ※ 修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。
- ※ 送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、販売店または下記にお問い合わせください。

デロンギ お客様サポートセンター

(受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30~18:00)

Tel.0120-804-280 / Fax.0120-956-020

〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページでのお問い合わせ(URL) — <http://www.delonghi.co.jp/support>

保証書

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。

持込修理

製品名：デロンギ ユニカルド オイルヒーター		
型式番号：RHJ65L0915 / RHJ65L0712		
お客様	お氏名： _____ 様 TEL： _____	
	ご住所：〒 _____	
販売店	※店名・住所・TEL： _____ 印	
※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日	保証期間：お買い上げ日より3年間	保証対象：本体

見本

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、本書と購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）をご準備の上、下記までご連絡ください。お買い上げ販売店独自の保証やその他サービスがある場合は販売店へご相談ください。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入しているお買い上げの販売店にご相談ができない場合には、下記に直接ご連絡ください。
4. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - イ. 本書のご提示がない場合
 - ロ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障・損傷
 - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障・損傷
 - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障・損傷
 - ヘ. 購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）が無く、お買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

- ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合
- チ. 付属品および本体から取り外せる部品の破損・紛失

5. 修理に際して代替部品に交換する場合があります。この場合、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
 6. 故障状態、その他の事情により、修理に代えて同機種での製品交換、または同等能力を有する他機種への交換となる場合があります。
 7. 故障によりお買い上げの製品が使用できないことによって生じた損害については補償いたしません。
 8. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
 9. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
 - 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

デロンギ・ジャパン株式会社

TEL.0120-804-280 〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間は変更することがありますのでご了承ください。

切り取り線

その他

